様式３(2020.08改)

作成日　令和　4年　4月　28日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800104
事業所名	グループホーム琴葉向陽

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板により地域の情報を得ている。今年度もコロナ禍により地域の行事や清掃活動、地域の商店や飲食店の利用は自粛が続いている。現状ではコロナの感染状況を確認し臨機応変な対応により、保育園児とハロウィンのお菓子の受け渡しや初詣の再開、日々の散歩で地域の方と挨拶を交わし交流している。また、オカリナや和太鼓の演奏を野外開催した折には、地域の方や保育園児と一緒に見学して、地域とのつながりを保ちながら暮らす努力をしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	入居者家族や近隣代表、市会議員、市職員が出席して2か月に1回開催している。今年度はコロナの状況を確認し感染対策をしながら事業所の玄関ホールで開催している。事業所の運営や活動状況の報告、ヒヤリハットや事故報告と今後の取り組みなどを議題として取り上げ、参加者からの意見や要望については議事録に丁寧に記録し、運営やサービスの向上に活かしている。議事録は家族や関係機関に配布している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議に市職員と社協が交代で参加している。コロナ感染対策で良好な評価を受けたり、情報の交換をしている。コロナ禍により電話やメール、ファックスなどを利用して事業所の運営やサービスなどの相談や指導、助言などを受け協力関係を密にしている。また、「介護のお仕事」説明会ではブースの責任者として貢献している。今年度の実践者研修はリモートで参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞いている。意見や要望などは、申し送りノートに記録して情報を共有し運営に反映させている。家族からはコロナの影響で行事や面会が規制される中でも、その時々の感染状況を確認し、感染対策をしながら玄関で短時間の面会を行ったり、電話など家族が対応できる方法で要望や意見を聞いている。今年度、家族会はアンケート調査を実施し、回収した意見に回答を添えた報告書と家族会のしおりを全世帯に送付している。また、改善が必要な場合は職員と話し合って改善に努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議は、入居者家族や近隣代表、市会議員、市職員の参加を得て、コロナ状況を確認しながら開催している。事前に意見を求めたり、意見や要望について丁寧に対処したりして運営やサービス向上に活かしている。議事録は家族や関係機関に配布している。コロナ禍で外出自粛が続く中でも、感染状況を確認し感染予防対策に十分に配慮して、日々の散歩や草取り、庭で食事会、お茶会など外気に触れる機会を大切にした支援に努めている。また、ドライブを兼ねて桜や花しょうぶ、紫陽花など季節の花見や温室の花の見学、野菜の収穫体験などを通して入居者の気力や体力の低下に配慮した支援に心掛けている。また、食事作りにアイデアを取り入れたり工夫をして生活のメリハリや食への楽しみが持てるようにし、職員と共に楽しめる暮らしを大切にしている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									